

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 DXフォーラム等開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部デジタル推進局
デジタル戦略推進課 政策調整係

電話番号：058-272-1111(内2713)

E-mail：c11178@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,996 千円 (前年度予算額： 3,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,996	0	0	0	0	0	0	0	3,996
決定額	3,000	0	0	0	0	0	0	0	3,000

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

・人口減少・少子高齢化が進展する中、持続可能な行政サービスの提供や県内産業の生産性向上等を図るためには、デジタル・トランスフォーメーション(DX)を推進する必要がある。

・本県では、令和4年3月に「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」を策定。「誰一人取り残されないデジタル社会である岐阜県」を基本理念に掲げ、オール岐阜でDXを推進していくこととしている。

・推進にあたっては、県民・市町村・民間等における理解を深め、機運醸成を図ることが極めて重要であり、DXの必要性や進め方、先端技術の動向、優良事例等を広く発信し、共有する必要がある。

(2) 事業内容

・DX推進に向けた機運醸成や意識改革、ノウハウの習得等のため、有識者による講演や先端技術の動向等を広く県民に発信し、情報共有するフォーラム又は公開講座を開催する。また、近年懸念されているランサムウェア攻撃やサプライチェーンに対する攻撃等への情報セキュリティ対策について、最新の知見を活かした公開講座を県内企業・病院・各種団体及び県民向けに開催するとともに、県内外の優良事例の横展開を図る事例発表会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,926	DXフォーラム又はDX公開講座及び情報セキュリティ公開講座に係る会場運営・企画費、講師謝金等
その他	70	事例発表会の発表者の報償費・旅費、消耗品費、通信運搬費
合計	3,996	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」

(2) 国・他県の状況

中部9県のうち、福井県、愛知県、三重県で実施

(3) 後年度の財政負担

国や県内の動向、デジタル技術の進展等を踏まえながら、内容を検討し、定期的を開催していく。

(4) 事業主体及びその妥当性

「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の推進に向けて機運醸成を図る事業であるため、県が事業主体となる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」の終期(2026年度末)を目前に、県民・市町村・民間等に向けて、DXの必要性や進め方、先端技術の動向、優良事例等を広く発信・共有し、DX推進の機運醸成を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①DXの理解が深まった人の割合 (フォーラムアンケート)	-	96%	89%	90%	90%	-
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和4年度	令和5年1月30日（月）に、県民・市町村・民間等を対象に、有識者による基調講演のほか県内の優良事例を発表する「DX推進フォーラム（ミナモホール）」を開催した。参加者からは、「DXの事例が具体的で、取組みと成果が参考になった」、「自社や今の仕事で活用できそうだと感じた」といったご意見も多くいただいております、「オール岐阜」でのDX推進に向けた機運醸成に一定の成果があったものと考えている。 指標① 目標：90% 実績：96% 達成率：100%
令和5年度	令和5年8月25日（金）に、県民・市町村・民間等を対象に、生成AI及びサイバーセキュリティをテーマに、講師2名を招き「DX公開講座（県庁20階）」を開催した。参加者からは「最新の動向を知ることができた」や「AIに対する職場での活用イメージがわいた」といった意見をいただくなど、高い評価を得ており、先端技術の動向について理解を深めるとともに、「オール岐阜」でのDX推進に向けた機運醸成に一定の成果があったものと考えている。 指標① 目標：90% 実績：89% 達成率：99%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	「オール岐阜」でDXを推進していくためには、その必要性や進め方、先端技術の動向、優良事例等を広く発信・共有し、機運醸成を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	開催後のアンケートにおいて、「非常に参考になった」「参考になった」との回答が9割程度となっており、情報共有と機運醸成に一定の成果があったものと考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	他のイベント(都道府県CIOフォーラム)と同日に開催するなど、効率的な実施に努めた。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 DXに関する情報共有、機運醸成、好事例の横展開に向けて、フォーラムや講座、事例発表などの機会のさらなる充実が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国や県内の動向、デジタル技術の進展等を踏まえながら、内容を検討し、定期的を開催していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】